

●ご使用前に必ず「取扱説明書」、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
●お読みになった後は、「取扱説明書」、「安全上のご注意」を合わせて、必要なときにすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。

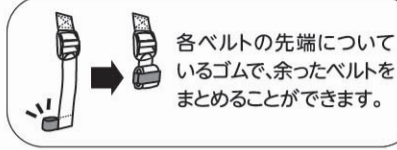
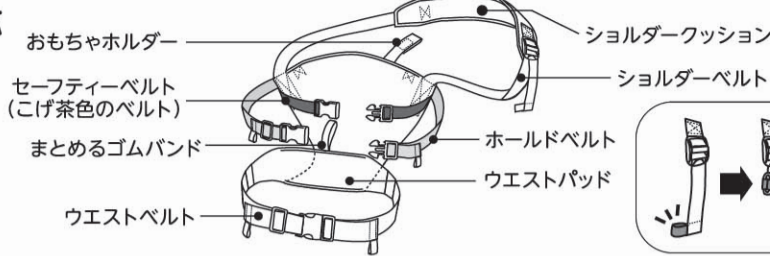
保存版

大切に保管  
してください。

201807

生産物賠償責任保険付  
実用新案登録済

## ●各部の名称



装着動画やよくある質問は公式ホームページをご覧ください。



## ●使い方

●常にお子様の様子に気を配り、危険のないようにしてください。また、周りの方の迷惑にならないようにご配慮ください。  
●開口部からお子様は落下する恐れがありますので、使用中は走ったり、前かがみになる等、無理な姿勢は絶対にしていただき、かがむ際には腰を折らず、膝を曲げてお子様の頭が下向きにならないようにしてください。  
●ストープなどの危険物の付近では絶対に使用しないでください。やけどや事故の原因になります。

1way	サイド密着抱っこ	2way	おひざ抱っこ	3way	対面抱っこ	4way	前向き抱っこ	5way	チェアベルト
<p>お子様が前を向いた状態で、保護者の両腕よりも背中側にくるように、Bebe Pocket を付けます。 立ち上がって移動することもできます。 △お子様が保護者の方を向いた状態で使用しないでください。また、お子様が寝ている時には使用しないでください。</p>	<p>お子様が前を向いた状態で、保護者の膝の上に座らせ、Bebe Pocket を付けます。</p>	<p>お子様が保護者の方を向いた状態で、Bebe Pocket を付けます。 立ち上がって移動することもできます。</p>	<p>お子様が前を向いた状態で、Bebe Pocket を付けます。 立ち上がって移動することもできます。</p>	<p>お子様が前を向いた状態で、Bebe Pocket を付けます。 立ち上がって移動することもできます。</p>	<p>お子様が前を向いた状態で、Bebe Pocket を付けます。 立ち上がって移動することもできます。</p>	<p>お子様が前を向いた状態で、Bebe Pocket を付けます。 立ち上がって移動することもできます。</p>	<p>お子様が前を向いた状態で、Bebe Pocket を付けます。 立ち上がって移動することもできます。</p>	<p>お子様が前を向いた状態で、Bebe Pocket を付けます。 立ち上がって移動することもできます。</p>	<p>△背もたれの付いていないイスは使用しないでください。背もたれ付きであっても、イスの形状によってしっかり固定できない場合は使用しないでください。</p>

## ●保護者への装着方法

●開口部からお子様は落下する恐れがありますので、必ず安全な場所に座った状態(低い姿勢)で行ってください。人に介添えていただいた方がより安全です。  
●お子様は、太ももが露出した洋服を避けてご使用ください。太ももと生地がこすれて痛みが生じることがあります。

1 まとめるゴムバンドが上に出るように。

2 本体をまたぐようにお子様を座らせ、本体をまたぐようにお子様を座らせ、まとめるゴムバンドが上に出るように、ウエストベルトを腰骨のすぐ上で留め、ベルトを締めます。

3 ショルダーベルトを保護者の首にかけ、お子様の腕は外側に出るようにします。  
※ベルトをゆるめてからかけると、かけやすいです。

4 お子様の胸まで本体で包み込むように、しっかりと引き上げてください。  
△引き上げがたりないと、落下の危険があります。

5 セーフティーベルト(こげ茶色のベルト)をお子様の背中(対面抱っこの場合はお腹)で留め、たるみの出ないようにベルトをしっかりと締めます。

6 ホールドベルト(黒色のベルト)を保護者の背中留めます。

7 お子様の背中(対面抱っこの場合はお腹)が保護者に密着するように、ホールドベルトをしっかりと締めてください。  
△ベルトがゆるいと落下の危険があります。

8 ショルダーベルトに保護者のどちらから一方の腕を通します。

9 おひざ抱っこ 前向き抱っこ 対面抱っこの場合

10 お子様がお尻が保護者の腰骨に乗る位置に、本体ごと回転させ、お子様の手前に腕を出します。

△抱き方によって使用できる月齢が異なりますので、必ずご確認ください。

△外す際は、装着の逆の順序で行くとスムーズです。必ず安全な場所に座った状態(低い姿勢)で行ってください。

### 必ず確認

●ご使用前に  
●抱き方変更の度に  
●立ち座りの度に

OK

NG

4参照	7参照	10参照
お子様の胸まで本体で包み込まれていますか?	お子様の体は保護者に密着していますか?	お子様のお尻が保護者の腰骨に乗っていますか?
NO	NO	NO
本体を胸までしっかり引き上げてください。	ホールドベルトの長さを調節してください。	ショルダーベルトの長さを調節してください。

△ベルトがゆるんでいるとお子様は前後左右に動いてしまい、落下の危険があります。また、肩が痛くなる等、保護者の方への負担も生じます。

## 抱き方のコツ

1 OK NG

1 腰骨にお子様のお尻が乗るよう、安定♥肩がラク ショルダーベルトを引っぱって!!

ゆるいと... 「上半身が不安定で落ちそうになる!」「肩だけに負担がかかり、肩に食い込んで痛い!」etc. の状況になります。  
※きつくするとお子様がいやがる場合は、まず「おひざ抱っこ」で慣れてからお使いください。サイドに抱いたり、立ち歩く際は必ず、密着するよう引っぱった状態でお使いください。

2 OK NG

2 密着するよう 本体をしっかり引き上げて!!

安定♥赤ちゃんごきげん

ゆるいと... 「密着感がなく不安で子が嫌がる!」「上半身が不安定でおちそうになる!」etc. の状況になります。  
※本体を引き上げてもゆるんでいる場合は、保護者側の各ベルトがゆるいことが原因です。各ベルトをしっかりと引っぱり、密着した状態でお使いください。

## ●イスへの装着方法

●まだ一人で座ることのできないお子様には、使用しないでください。  
●転落や転倒によるケガの原因となりますので、不安定な状態で、お子様を座らせたり、乗せたまま持ち上げて移動しないでください。

1 まとめるゴムバンドが上に出るように。

2

3 すき間のないように

内側(柄の無い面)を表にして、本体を座面に広げ、まとめるゴムバンドが上に出るように、ウエストベルトを背もたれの後ろで留め、ベルトを締めます。

本体の上にお子様を座らせ、セーフティーベルト(こげ茶色のベルト)をお子様の背中中、ホールドベルト(黒色のベルト)をイスの背もたれの後ろで留めます。

お子様の背中がイスの背もたれに密着するように、ホールドベルトを締めます。ショルダーベルトはイスの後ろに回しておきます。

## ●たたみ方

たたむ たたむ

1 内側(柄の無い面)を表にして広げ、各ベルトを折りたたみます。

2 ウエストパッドの幅に合わせて、本体の左右を折りたたみます。

3 内側に折りたたんだベルトを包むように、ウエストパッドの方に向かって本体を丸めます。

4 まとめるゴムバンドを裏返ししながら、丸めた本体の端から通して留めます。

5 完成!